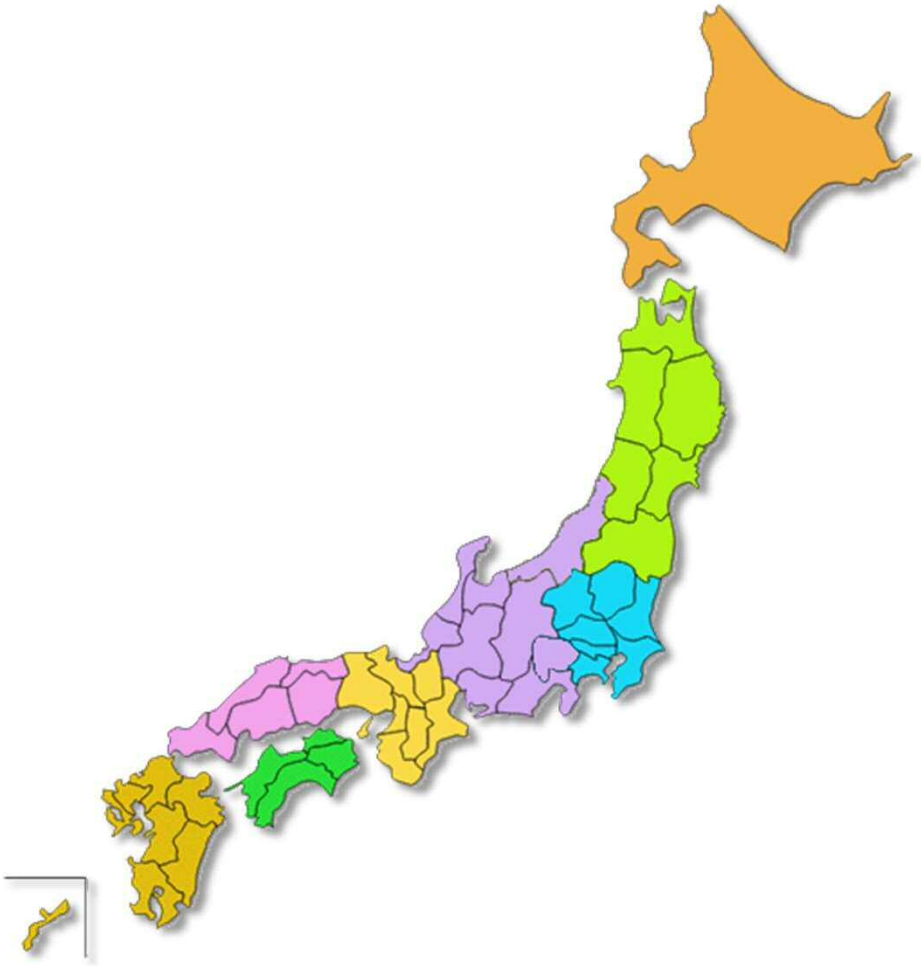
平成30年度版

全国の山村留学実態調査報告書



NPO法人　全国山村留学協会

本調査でいう「山村留学」とは、山村留学だけでなく、海浜留学などの義務教育期間中の日本国内における留学制度全般を指します。これらの総称を、表記上、山村留学とします。
なお、同一行政区内での学区域外通学はこれに含みません。

【本調査の概要】

本調査は主に山村留学実施地域を対象としており、昭和51年度より継続して実施しているものです。尚、現在の対象となる地域は、平成12年度文部科学省委嘱事業「山村留学と国内ホームステイ等の実態についての調査研究」を元に、毎年更新して決定しています。
平成30年度のアンケート配布地域数及び有効回答数は以下の通りです。

小学校・・・配布数101校（有効回答数90校、無回答等11校）
中学校・・・配布数57校（有効回答数48校、無回答等9校）

※無回答等は本調査内容には含まれていません。

【都道府県の地方区分について】

本調査では、一般的な八地方区分を採用しています。

北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、京都府、大阪府、兵庫県
中国	岡山県、広島県、鳥取県、島根県、山口県
四国	香川県、徳島県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【本文中の表記について】

本文中では、山村留学の居住形態別に以下の分類及び表記を行っています。

ホームステイ方式	年間を通して主にホームステイ宅で生活をするもの
寮方式	年間を通して主に寮で生活をするもの
併用方式	年間を通して、ホームステイ及び寮での生活を同数程度行うもの
家族方式	留学生本人だけでなく家族等と移住するもの

山村留学データバンク

平成30年度の参加者は前年度より8人増（小学生6人、中学生2人）の570人となりました。
ただ、新たな教育政策として山村留学に取り組む自治体がある一方で、長年継続して実施してきたものの、地元児童生徒数の減少による学校統廃合などの影響により、山村留学を閉鎖する地域もありました。このことは、山村留学の導入だけでは、地元児童生徒数の減少に歯止めをかけることが難しいことを物語っています。
こうしたことから、山村留学を長期的に実施するためには、山村留学の特色ある教育効果を謳いながら、地元児童生徒数の増加に寄与するような、定住促進事業との連携を図っていくことが今後必要になってくると考えられます。

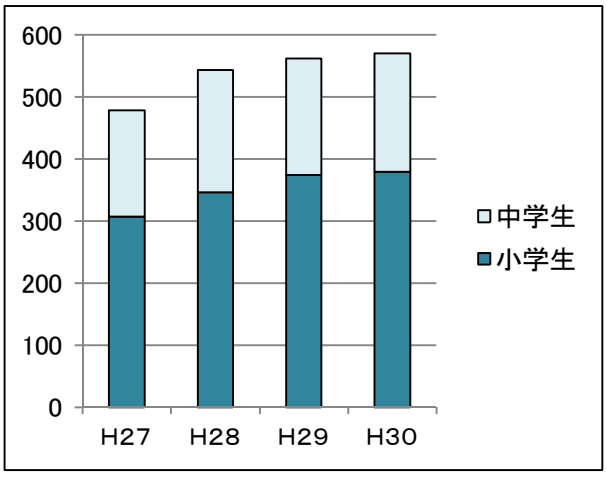
〇実施都道府県　22道府県　（留学生受け入れ21、受け入れなし1）
〇実施自治体　63市町村　（留学生受け入れ56、受け入れなし7）
〇小学校　90校　（留学生受け入れ71、受け入れなし19）
〇中学校　48校　（留学生受け入れ38、受け入れなし10）
〇小学生参加者　380人　（新規参加者259人、継続参加者121人）
〇中学生参加者　190人　（新規参加者82人、継続参加者108人）
〇参加者累計（昭和51年度～平成30年度延べ人数）　20,710 人
〇山村留学体験者数（新規参加者のみの累計）　12,273 人

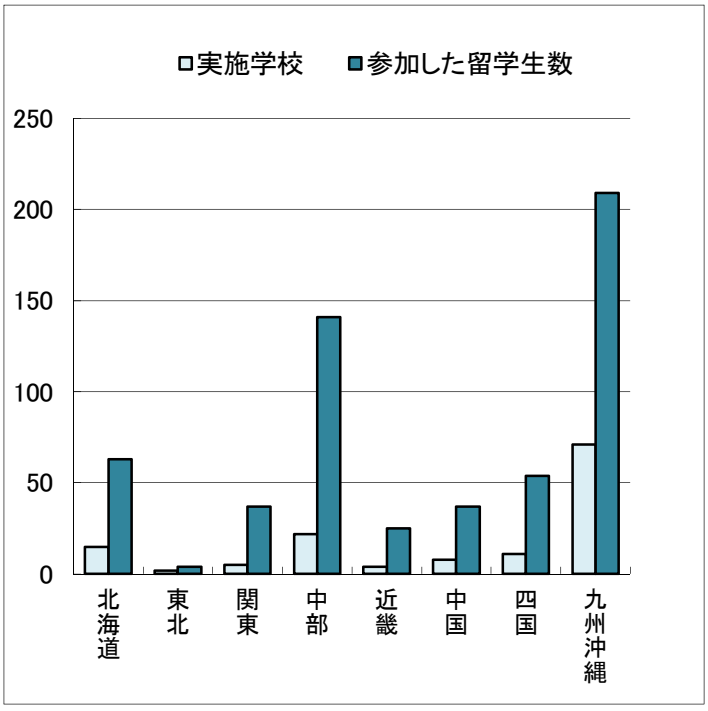
▽地域別の山村留学実施校と受け入れ人数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
実施学校	15	2	5	22	4	8	11	71	138
受け入れた学校	13	2	4	18	4	8	9	51	109
受け入れなかった学校	2	0	1	4	0	0	2	20	29
参加した留学生数	63	4	37	141	25	37	54	209	570
一校平均の受入れ数	4.8	2.0	9.3	7.8	6.3	4.6	6.0	4.1	5.2

▽小中学生別参加者数の推移（H27～H30）

	H27	H28	H29	H30
小学生	307	347	374	380
中学生	172	197	188	190
合計	479	544	562	570





山村留学実施市町村及び学校名　NO.1

Aは親元を離れた山村留学生数（ホームステイ、寮、併用）：Bは家族で転居した山村留学生数（家族）：無記入は受け入れなし　　単位（人）

北　海　道		A	B
雄武町	共栄小		2
鹿追町	瓜幕小	7	3
	瓜幕中	4	2
新得町	富村牛小		2
	富村牛中		3
西興部村	上興部小		7
東神楽町	志比内小		11
美深町	仁宇布小		2
	仁宇布中	3	5
平取町	振内小		4
	振内中		3
芽室町	上美生小		1
	上美生中	3	1
中頓別町	中頓別小		
	中頓別中		
合　計		17	46

宮　城　県		A	B
丸森町	筆甫小	1	1
	耕野小	2	
合　計		3	1

群　馬　県		A	B
上野村	上野小	6	
	上野中	9	
高崎市	倉渕小	15	
	倉渕中	7	
合　計		37	0

埼　玉　県		A	B
越生町	梅園小		
合　計		0	0

新　潟　県		A	B
粟島浦村	粟島浦小	3	
	粟島浦中	8	
合　計		11	0

山　梨　県		A	B
早川町	早川南小		4
小菅村	小菅小		
	小菅中		
合　計		0	4

長　野　県		A	B
阿智村	浪合小	11	
	阿智中	5	
売木村	売木小	8	
	売木中	3	
大鹿村	大鹿小		
	大鹿中		1
大町市	八坂小	8	
	美麻小	8	
	八坂中	8	
	美麻中	8	
北相木村	北相木小	17	16
長野市	大岡小	9	
	大岡中	6	
泰阜村	泰阜小	10	
	泰阜中	6	
合　計		107	17

岐　阜　県		A	B
七宗町	神渕小		2
	神渕中		
合　計		0	2

京　都　府		A	B
南丹市	美山小	7	
合　計		7	0

兵　庫　県		A	B
神河町	越知谷小	11	
合　計		11	0

和　歌　山　県		A	B
紀の川市	鞆渕小	1	2
	鞆渕中	3	1
合　計		4	3

島　根　県		A	B
大田市	北三瓶小	2	
	北三瓶中	5	
知夫村	知夫小	1	
	知夫中	5	
西ノ島町	西ノ島小		2
	西ノ島中		1
合　計		13	3

山　口　県		A	B
岩国市	本郷小	16	
	本郷中	5	
合　計		21	0

徳　島　県		A	B
那賀町	木頭小		
美波町	由岐中伊座利分校		2
	伊座利小		4
合　計		0	6

愛　媛　県		A	B
砥部町	広田小	16	
合　計		16	0

山村留学実施市町村及び学校名　NO.2

Aは親元を離れた山村留学生数（ホームステイ、寮、併用）：Bは家族で転居した山村留学生数（家族）：無記入は受け入れなし　　単位（人）

高　知　県		A	B
いの町	本川中	11	
馬路村	魚梁瀬小		7
	魚梁瀬中		1
大川村	大川小	2	
	大川中	10	
室戸市	中川内小		1
	中川内中		
合　計		23	9

福　岡　県		A	B
宗像市	地島小	5	
八女市	星野小	8	
合　計		13	0

佐　賀　県		A	B
佐賀市	北山東部小	5	
合　計		5	0

長　崎　県		A	B
五島市	久賀小	4	
	久賀中	6	
	奈留小	3	
	奈留中	2	
	北魚目小	1	
	魚目中		
合　計		16	0

宮　崎　県		A	B
西都市	銀上小	6	
	銀鏡中	11	
合　計		17	0

鹿児島県		A	B
阿久根市	田代小	1	
	大川小		
天城町	西阿木名小三京分校		
伊佐市	南永小		
出水市	上場小	1	
霧島市	永水小		4
薩摩河内市	鹿島小	9	2
瀬戸内町	与路小	3	
	与路中		
徳之島町	手々小	1	
	手々中		
十島村	中之島小		
	諏訪之瀬島小		
	宝島小		
	小宝島小	1	
	悪石島小		
	口之島小	4	
	平島小	3	
	中之島中		
	諏訪之瀬島中	1	
	宝島中	2	
	小宝島中	3	
	悪石島中		
	口之島中		
	平島中	3	
中種子町	岩岡小	5	
西之表市	上西小	3	
	国上小	1	
	伊関小		
	安納小		
	安城小		
	現和小	2	
	古田小		
	住吉小		

鹿児島県		A	B
三島村	竹島小	1	
	大里小	2	
	竹島中	5	
	大里中	4	
南種子町	茎南小	6	1
	西野小	2	4
	大川小	6	1
	島間小	4	2
	平山小	4	2
	花峰小	4	4
	長谷小	6	2
屋久島町	永田小		2
	金岳小	3	
	栗生小	3	1
	八幡小	3	
	一湊小		3
	金岳中	3	1
与論町	与論中	1	1
姶良市	漆小		
合　計		100	30

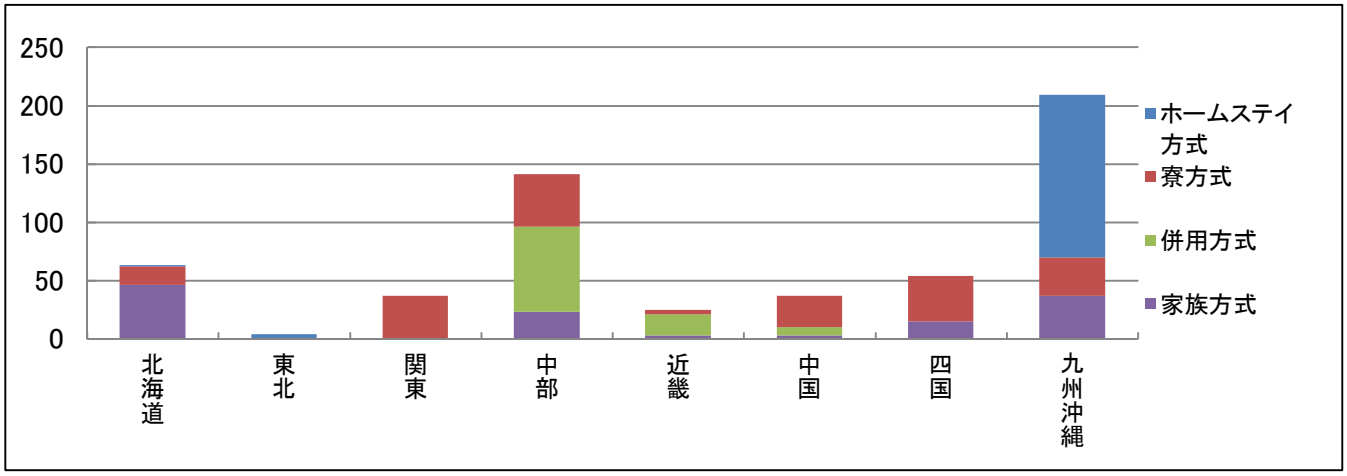
沖　縄　県		A	B
国頭村	安田小		6
渡嘉敷村	渡嘉敷小	1	
	渡嘉敷中	7	
南城市	久高小		
	久高中	8	
竹富町	鳩間小	2	1
	鳩間中	3	
合　計		21	7

居住形態別データ

居住形態別の参加者数をみると、年度によって多少の増減はあるものの、平成30年度は寮方式が47人増と大きく留学生数を伸ばしました。
地域世帯の高齢化が進む中で、ホームステイの受入家庭を確保するのも難しくなってきており、最近では寮方式を取り入れて新規参入する地域もみられます。
ただ、宿泊場所を提供するだけというような施設運営方針では、多彩な体験の場を求めてくる留学生の期待には応えられず、留学生の確保が難しくなります。そのため、施設整備と合わせて、充実した指導体制の確立や多様な活動カリキュラム構築などの要素も求められています。

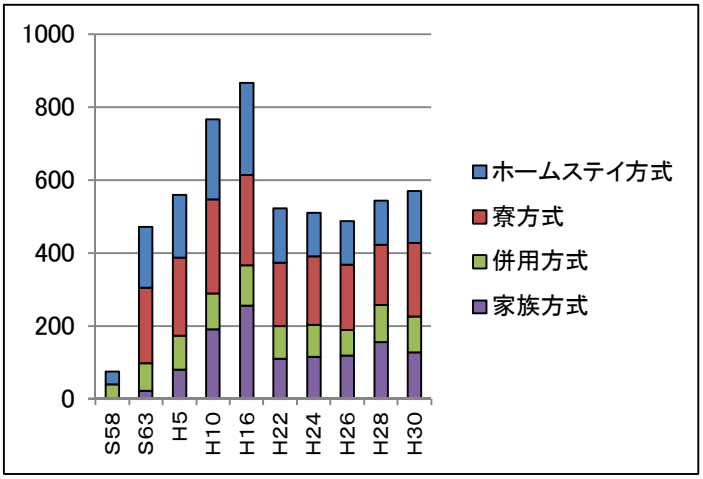
▽居住形態別の地域別参加者数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州沖縄	全体
ホームステイ方式	1	3	0	0	0	0	0	139	143
寮方式	16	0	37	45	4	27	39	33	201
併用方式	0	0	0	73	18	7	0	0	98
家族方式	46	1	0	23	3	3	15	37	128
合計	63	4	37	141	25	37	54	209	570



▽居住形態別参加者数の推移（S58～H30）

	ホームステイ方式	寮方式	併用方式	家族方式
S58	35	0	40	0
S63	166	208	75	22
H5	172	215	93	80
H10	219	258	99	190
H16	252	248	110	256
H22	149	174	89	110
H24	119	189	87	115
H26	120	179	70	119
H28	121	166	102	155
H30	143	201	98	128



ホームステイ方式は約97%が九州沖縄地区に集中しており、併用方式は約74%が中部地区、家族方式は北海道地区、中部地区、九州沖縄地区だけで約83%となっている一方で、寮方式は東北、近畿を除く全国に分散しています。また、東北地方は留学実施地域が最も少なくなっており、長年続いた実施団体が廃止になるなど、未だに平成23年に発生した東日本大震災の影響が色濃く残っています。

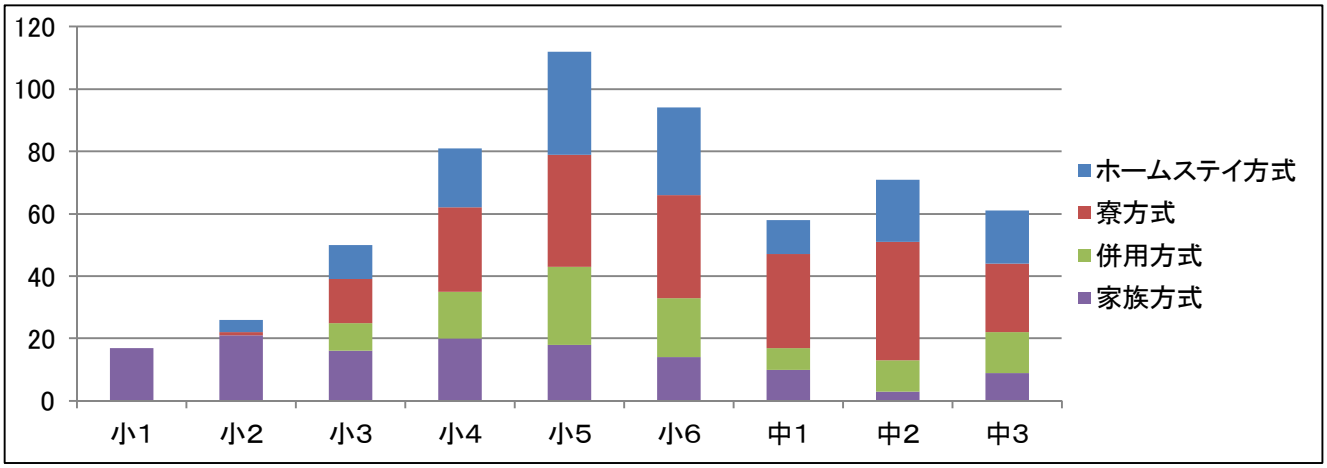
学年別・男女別データ

全体の学年別では、小学生が約67%（380人）、中学生が約33%（190人）となっており、最も人数が多い学年は小5の112人（約20%）となっています。この傾向はここ数年続いており、中学受験や高校進学を視野に入れたり、親元を離れるという面である程度自立した年齢という理由などから、小5の年齢は最も留学に出しやすい年代と言えるのかもしれません。

また、小1は親同伴のメリットから家族方式にしかみられず、寮方式、併用方式は小3からを募集対象にしている地域がほとんどとなっています。こうしたことから、山村留学には集団生活をある程度円滑に行うことのできる自活力が求められていることがわかります。

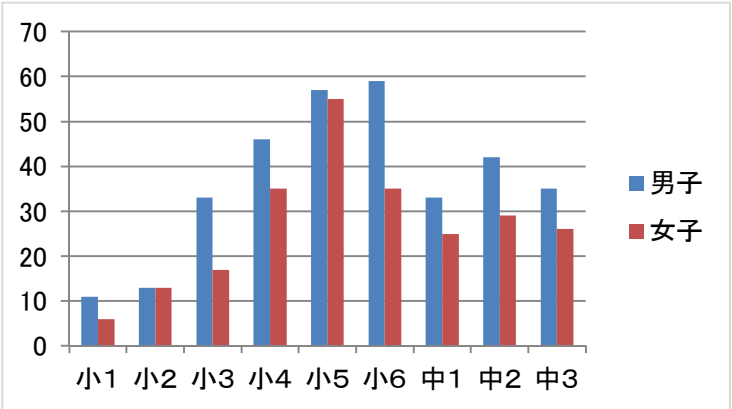
▽居住形態別の学年別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
ホームステイ方式	0	4	11	19	33	28	11	20	17	143
寮方式	0	1	14	27	36	33	30	38	22	201
併用方式	0	0	9	15	25	19	7	10	13	98
家族方式	17	21	16	20	18	14	10	3	9	128
合計	17	26	50	81	112	94	58	71	61	570



▽学年別の男女別参加者数

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男子	11	13	33	46	57	59	33	42	35	329
女子	6	13	17	35	55	35	25	29	26	241
合計	17	26	50	81	112	94	58	71	61	570



全体では男子が329人（約58%）、女子が241人（約42%）で、前年度同様に男子：女子＝6：4の比率になっていますが、女子は前年度に比べて23人増加しました。

実施地域によって男女の偏りが見られる場合もありますが、最近では女子も一定量の参加があり、山村留学に参加するにあたっては、性差はあまり影響していないと考えられます。

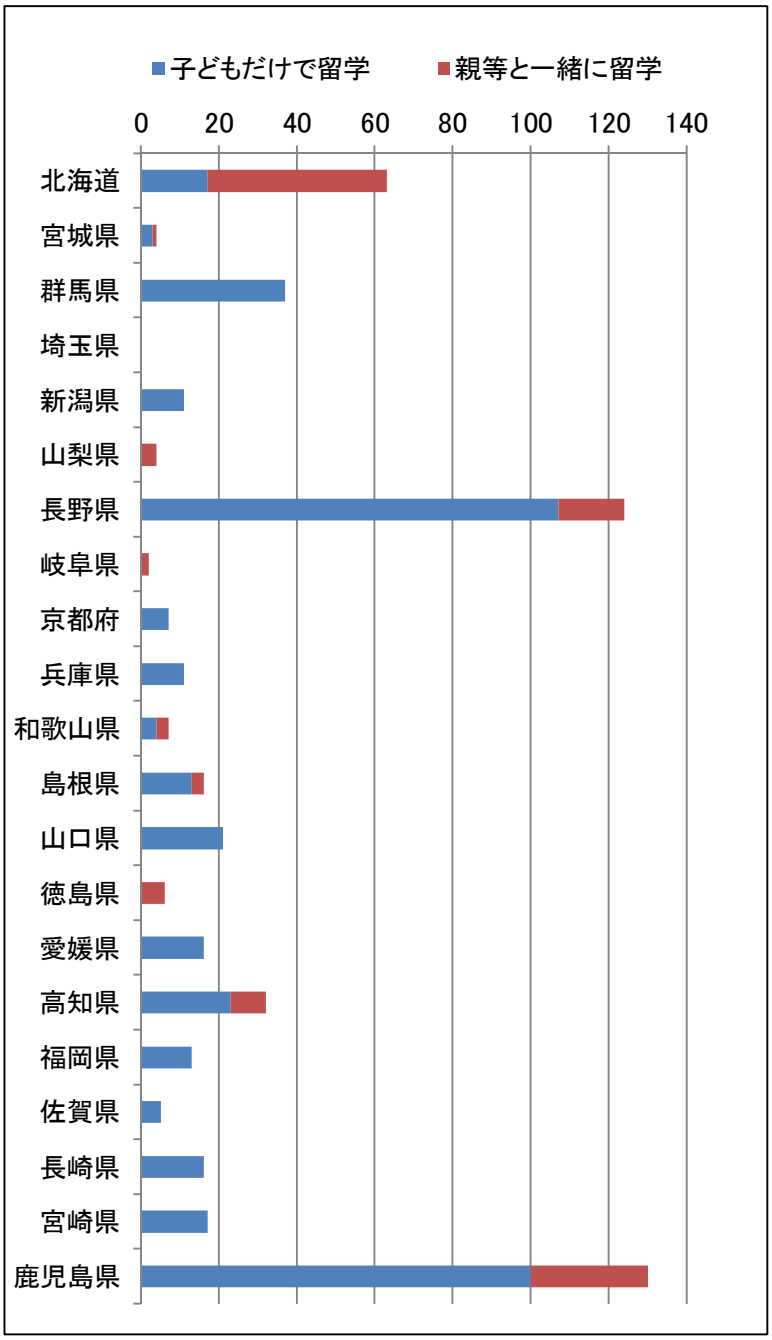
都道府県別の山村留学受け入れ人数

○ 平成30年度の山村留学参加者数は570人で、うち子どもだけで留学した参加者数は442人（約78%）、親等と一緒に留学した参加者数は128人（約22%）です。
○ 受け入れ人数が多い都道府県は、鹿児島県（130人、2人増）、長野県（124人、6人減）、北海道（63人、増減なし）、群馬県（37人、30人増）です。
○ 子どもだけで留学した参加者数が多いのは、長野県（107人、2人減）、鹿児島県（100人、1人減）のほか、群馬県や山口県、高知県、沖縄県が多くなっています。
○ 親等と一緒に留学した参加者数が多いのは、北海道（46人、増減なし）、鹿児島県（30人、3人増）などとなっています。

※人数比較は前年度と比べた数字

▽都道府県別の留学生受け入れ人数

	子どもだけで留学	親等と一緒に留学	合計
北海道	17	46	63
宮城県	3	1	4
群馬県	37	0	37
埼玉県	0	0	0
新潟県	11	0	11
山梨県	0	4	4
長野県	107	17	124
岐阜県	0	2	2
京都府	7	0	7
兵庫県	11	0	11
和歌山県	4	3	7
島根県	13	3	16
山口県	21	0	21
徳島県	0	6	6
愛媛県	16	0	16
高知県	23	9	32
福岡県	13	0	13
佐賀県	5	0	5
長崎県	16	0	16
宮崎県	17	0	17
鹿児島県	100	30	130
沖縄県	21	7	28
合計	442	128	570



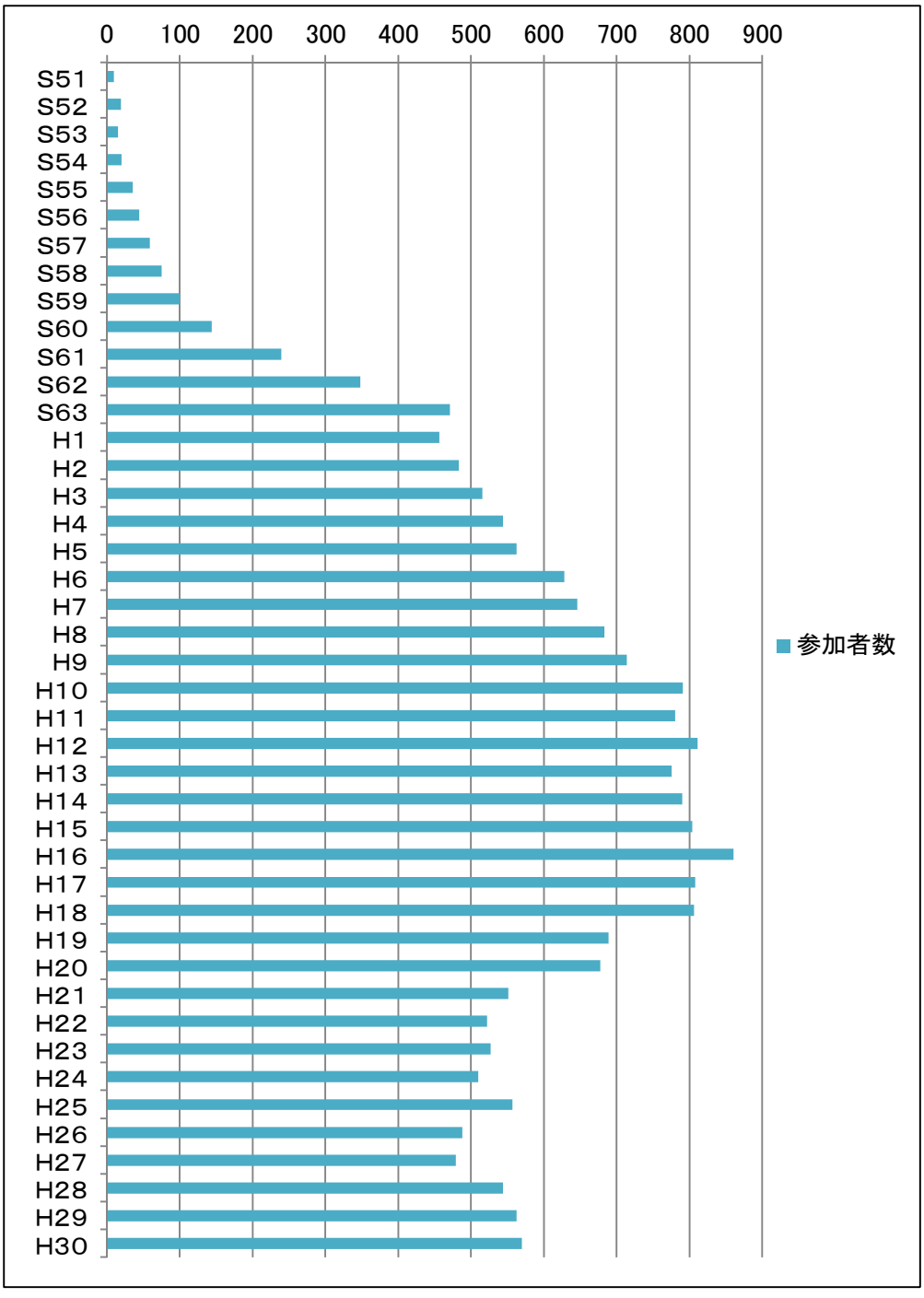
43年間の山村留学参加者数の推移

昭和51年度に長野県八坂村（現大町市）で日本初の山村留学が実施されて以後、43年間の参加者数の推移です。一時は900人に迫った参加者数も、自治体合併やホームステイ先の高齢化、地元児童生徒数の減少、学校統廃合等により受け入れ学校も減少に転じました。しかしながら、ここ数年は増加傾向に転じ、平成30年度は570名と、微増ではありますが3年連続の増加となっています。

ピーク時に比べて受け入れ校は減少してはいますが、新たに開設されたり、実績ある地域に安定的に留学生が集まっていることが、今回の調査における増加傾向に繋がったと考えられます。

▽山村留学参加者数の推移

年度	参加者数
S51	9
S52	19
S53	15
S54	20
S55	35
S56	44
S57	59
S58	75
S59	100
S60	144
S61	239
S62	348
S63	471
H1	456
H2	483
H3	515
H4	544
H5	562
H6	628
H7	646
H8	683
H9	714
H10	791
H11	780
H12	811
H13	775
H14	790
H15	804
H16	860
H17	808
H18	806
H19	689
H20	677
H21	551
H22	522
H23	527
H24	510
H25	557
H26	488
H27	479
H28	544
H29	562
H30	570

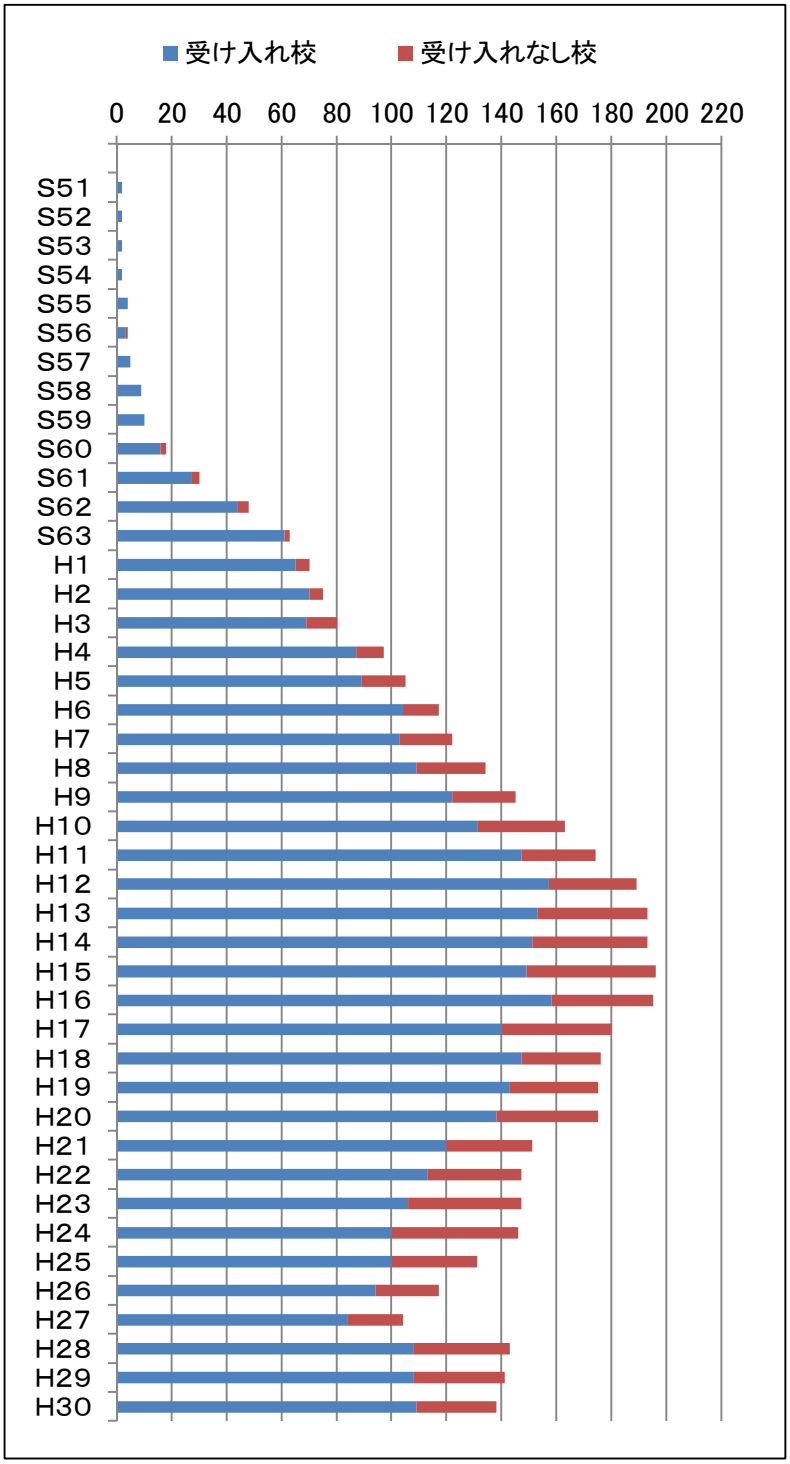


43年間の山村留学実施校の推移

山村留学実施校は昭和60年度頃から増加し、一時は200校弱で推移しています。山村留学を中止した学校は平成3年頃から目立ち始めましたが、開設した学校もあり大きな減少にはなっていません。
その後、平成17～21年度は、学校統廃合や自治体合併等の影響からか、中止する学校の方が多くなっていましたが、平成28年度頃からは新たに参入するケースもみられ増加する結果となりました。

▽受け入れ校数と受け入れなし校数の推移

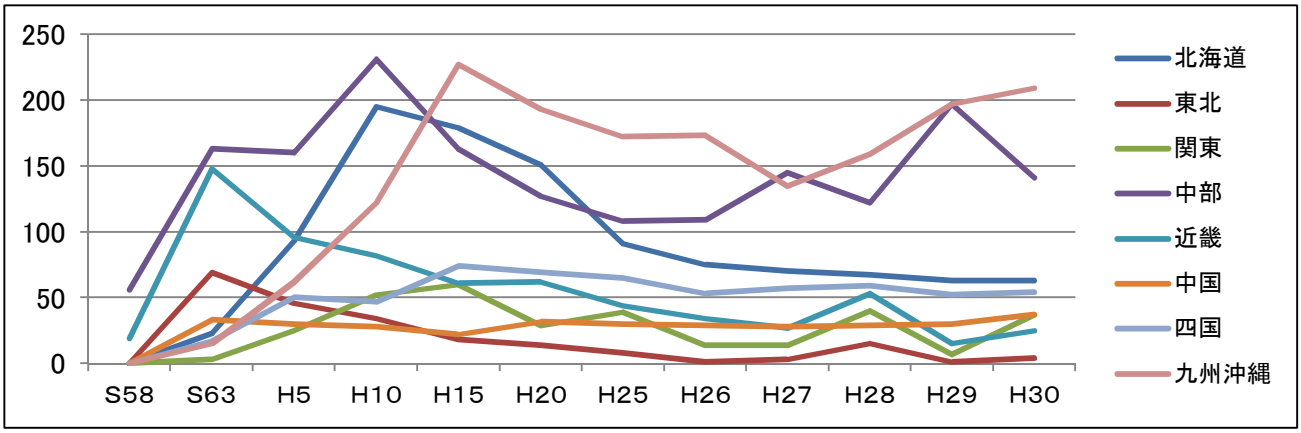
年度	受け入れ校	受け入れなし校	合計
S51	2	0	2
S52	2	0	2
S53	2	0	2
S54	2	0	2
S55	4	0	4
S56	3	1	4
S57	5	0	5
S58	9	0	9
S59	10	0	10
S60	16	2	18
S61	27	3	30
S62	44	4	48
S63	61	2	63
H1	65	5	70
H2	70	5	75
H3	69	11	80
H4	87	10	97
H5	89	16	105
H6	104	13	117
H7	103	19	122
H8	109	25	134
H9	122	23	145
H10	131	32	163
H11	147	27	174
H12	157	32	189
H13	153	40	193
H14	151	42	193
H15	149	47	196
H16	158	37	195
H17	140	40	180
H18	147	29	176
H19	143	32	175
H20	138	37	175
H21	120	31	151
H22	113	34	147
H23	106	41	147
H24	100	46	146
H25	100	31	131
H26	94	23	117
H27	84	20	104
H28	108	35	143
H29	108	33	141
H30	109	29	138



43年間の参加者数の推移（受け入れ地域別・居住形態別）

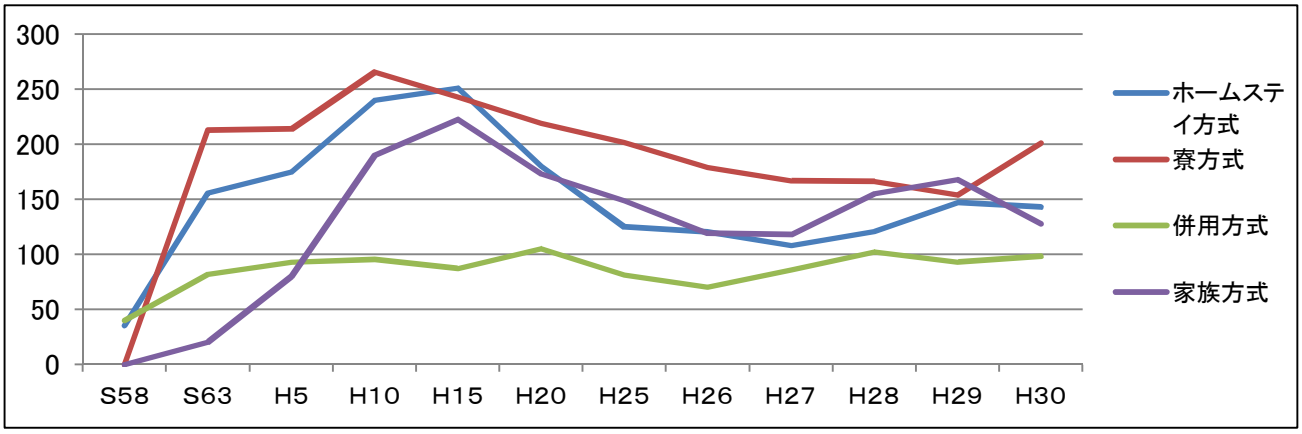
▽受け入れ地域別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30
北海道	0	23	93	195	179	151	91	75	70	67	63	63
東北	0	69	46	34	18	14	8	1	3	15	1	4
関東	0	3	25	52	60	29	39	14	14	40	7	37
中部	56	163	160	231	163	127	108	109	145	122	197	141
近畿	19	148	96	82	61	62	44	34	27	53	15	25
中国	0	33	30	28	22	32	30	29	28	29	30	37
四国	0	17	50	47	74	69	65	53	57	59	52	54
九州沖縄	0	15	62	122	227	193	172	173	135	159	197	209
合計	75	471	562	791	804	677	557	488	479	544	562	570



▽居住形態別に見た参加者数の推移

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ホームステイ方式	35	156	175	240	251	180	125	120	108	121	147	143
寮方式	0	213	214	266	243	219	202	179	167	166	154	201
併用方式	40	82	93	95	87	105	81	70	86	102	93	98
家族方式	0	20	80	190	223	173	149	119	118	155	168	128
合　計	75	471	562	791	804	677	557	488	479	544	562	570



平成30年度版　全国の山村留学実態調査報告書

平成31年4月

編集発行：　NPO法人全国山村留学協会

〒180-0006
東京都武蔵野市中町1-6-7-5F　tel:0422-56-0595 fax:0422-56-0351
info@sanryukyo.net
http://www.sanryukyo.net